

# 様式リスト

---

## 《様式 1》

### 型式適合認定申請書（記入例）

- 様式 1-1：（告示第 1 第一号～第三号）に適用
- 様式 1-2：上記以外に適用

常に最新の様式を当財団ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。

また、申請者が法人である場合には、原則として申請企業の代表権を有する方の署名又は捺印をしてください。

---

## 《様式 2》

### 建築物の部分の概要を記載した図書（処理方式及び処理能力を記載した書面）

- 様式 2-1：（告示第 1 第一号～第三号）に適用
- 様式 2-2：上記以外に適用

様式 2 の次ページ以降の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。

---

## 《様式 3》

### 施工要領書及び維持管理要領書に記載すべき事項

様式 3 の次ページ以降の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。

---

## 《様式 4》

### 変更内容説明書

様式 4 の次ページ以降の記入例に従い、様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。

---

## 《様式 5》

### 取り下げ届

---

---

## 《様式 6》

### 仕 様 書

- 様式 6-1 : (告示第 1 第一号~第三号) に適用
- 様式 6-2 : (告示第 2, 3, 6)、  
(告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分)、  
(告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用
- 様式 6-3 : (告示第 7, 8 の各第一号で三次処理部分) に適用
- 様式 6-4 : (告示第 7, 8 の各第二号で三次処理部分) に適用
- 様式 6-5 : (告示第 9, 10, 11 の各第一号で二次処理部分) に適用
- 様式 6-6 : (告示第 9, 10, 11 の各第一号で三次処理部分) に適用
- 様式 6-7 : (告示第 9, 10, 11 の各第二号で三次処理部分) に適用

申請区分毎に様式に従ってワープロ等で浄書きしてください。

申請区分 35 (その他) については、以下のとおりとしてください。

法第 31 条第 2 項認定又は同法施行令第 35 条第 1 項認定：性能評価申請資料に添付した仕様書と、様式 6-1~6-7 のいずれかに適用可能な様式を用いた仕様書

---

# 記入例

常に最新の様式を当財団ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

《様式1-1》BF02-01-00  
平成 年 月 日

## 型式適合認定申請書

一般財団法人 日本建築センター  
理事長 松野 仁 様

役職名を正確に！

申請者

会社名 ●●●●株式会社  
代表者名 代表取締役社長 ●● ●● 印  
所在地 〒●●●●-●●●●  
東京都●●区●●町●丁目●番地●号  
電話 03-●●●●-●●●●

下記の型式について、建築基準法第68条の10第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定による認定を受けたいので、次のとおり申請します。申請にあたっては、一般財団法人日本建築センター認定等業務約款及び同認定等業務規程を遵守します。また、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

性能評価及び大臣認定を受けた構造は、「建築基準法施行令第35条第1項」と記述する。

認定を受けようとする型式	告示区分	告示第 1 第 2 号			
	処理方式	嫌気濾床接触ばっ気方式			
	躯体構造	FRP製 RC製 その他 ( )			
	型式名及び処理対象人員				
	型式 ●●-5 型	型式 ●●-7 型	型式 ●●-10 型	型式 ●●-12 型	型式 ●●-14 型
	5人槽	7人槽	10人槽	12人槽	14人槽
	型式 ●●-16 型	型式 ●●-18 型	型式 ●●-20 型	型式 ●●-22 型	型式 ●●-24 型
16人槽	18人槽	20人槽	22人槽	24人槽	
型式 ●●-26 型	型式 ●●-28 型	型式 ●●-30 型	型式 ●●-31 型	型式 ●●-35 型	
26人槽	28人槽	30人槽	31人槽	35人槽	
型式 ●●-40 型	型式 ●●-45 型	型式 ●●-50 型	型式	型式	
40人槽	45人槽	50人槽	人槽	人槽	
連絡先	会社名：	●●●●株式会社			承諾印及び承諾日
	所在地：	〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号			
	部 課 名：	●●部●●課			※ ここには何も記載しない。
	担当者名：	●● ●● ふりがな まるまる まるまる			
	電話番号：	03-●●●●-●●●●			
	FAX 番号：	03-●●●●-●●●●			
	e-mail：	●●●●@●●.co.jp			
型式適合認定手数料請求先 (会社名のみ記入)		●●●●株式会社		手数料額(非課税) 12-1106	※ここには何も記載しない
請求書送付先 (会社名のみ記入。ただし、請求書送付先が【連絡先】と違う場合は住所も記入のこと。)		●●●●株式会社 まるまる まるまる ●● ●● (連絡先担当者)			

いずれか1つに○で囲む  
その他の場合は ( ) 内に  
材質を記載する。

※  
ここには何も記載しない。

# 記入例

常に最新の様式を当財団ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

《様式1-2》BF02-01-00  
平成 年 月 日

## 型式適合認定申請書

一般財団法人 日本建築センター  
理事長 松野 仁 様

役職名を正確に！

申請者

会社名 ●●●●株式会社  
代表者名 代表取締役社長 ●● ●● (印)  
所在地 〒●●●-●●●●  
東京都●●区●●町●丁目●番地●号  
電話 03-●●●●-●●●● (印)

下記の型式について、建築基準法第68条の10第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定による認定を受けたいので、次のとおり申請します。申請にあたっては、一般財団法人 日本建築センター認定等業務約款及び同認定等業務規程を遵守します。また、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

性能評価及び大臣認定を受けた構造は、「建築基準法施行令第35条第1項」と記述する。

認定を受けようとする型式	型式名	●●●●型		
	告示区分	告示第 6 第 二 号		
	処理方式	接触ばっ気方式（流量調整槽）		
	躯体構造	FRP製 RC製 その他（		
	処理対象人員	101人～500人		
	日平均汚水量	20.2～100m <sup>3</sup>		
	配置パターン、及びパターン数	A, B, C, D, E, F, G, H, I, J (計10パターン)		
連絡先	会社名	●●●●株式会社	承諾印及び承諾日	※ ここには何も記載しない。
	所在地	〒●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号		
	部 課 名	●●部●●課		
	担当者名	まるまる まるまる		
	電話番号	03-●●●●-●●●●		
	FAX 番号	03-●●●●-●●●●		
	e-mail	●●●●@●●.co.jp		
	型式適合認定手数料請求先 (会社名のみ記入)	●●●●株式会社	手数料額(非課税) 12-1106	※ここには何も記載しない
	請求書送付先 (会社名のみ記入。ただし、請求書送付先が【連絡先】と違う場合は住所も記入のこと。)	●●●●株式会社 まるまる まるまる ●● ●● (連絡先担当者)		

いずれか1つに○で囲む  
その他の場合は ( ) 内に  
材質を記載する。

## 建築物の部分の概要を記載した図書

(処理方式及び処理能力を記載した書面)

1) 申請者:

会社名:

代表者名:

所在地:

2) 処理方式:

告示第 第 号による

方式

3) 浄化槽の型式及び処理対象人員:

型式	型式	型式	型式	型式
人槽	人槽	人槽	人槽	人槽
型式	型式	型式	型式	型式
人槽	人槽	人槽	人槽	人槽
型式	型式	型式	型式	型式
人槽	人槽	人槽	人槽	人槽
型式	型式	型式	型式	型式
人槽	人槽	人槽	人槽	人槽
型式	型式	型式	型式	型式
人槽	人槽	人槽	人槽	人槽

4) 処理能力:

BOD除去率: %以上

放流水BOD: mg/L以下

放流水T-N: mg/L以下 (告示第1第三号の申請のみ記入)

5) 設計:

(会社名で記入)

## 建築物の部分の概要を記載した図書

(処理方式及び処理能力を記載した書面)

1) 申請者:

会社名:

代表者名:

所在地:

2) 処理方式:

告示第 第 号による

方式

3) 浄化槽の型式、処理対象人員、及び日平均汚水量:

型 式	
処理対象人員	
日平均汚水量	
配置パターン 及びパターン数	(計 パターン)

4) 処理能力:

流入水BOD: mg/L ~ mg/L

放流水BOD: mg/L 以下

放流水COD: mg/L 以下 (告示第8の申請またはそれと同等性能以上の申請のみ記入)

放流水T-N: mg/L 以下 (告示第9、10、及び第11の申請またはそれらと同等性能以上の申請のみ記入)

放流水T-P: mg/L 以下 (告示第9、10、及び第11の申請またはそれらと同等性能以上の申請のみ記入)

5) 設 計:

(会社名で記入)

# 記入例（告示構造・小規模合併処理）

《様式2-1》

## 建築物の部分の概要を記載した図書

（処理方式及び処理能力を記載した書面）

1) 申請者：

会社名：●●●●株式会社  
 代表者名：代表取締役社長 ●● ●●  
 所在地：〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号

2) 処理方式：

告示第1第二号による 嫌気濾床接触ばっ気方式

3) 浄化槽の型式及び処理対象人員：

型式 ●●-5型	型式 ●●7型	型式 ●●-10型	型式 ●●-12型	型式 ●●-14型
5人槽	7人槽	10人槽	12人槽	14人槽
型式 ●●-16型	型式 ●●-18型	型式 ●●-20型	型式 ●●-22型	型式 ●●-24型
16人槽	18人槽	20人槽	22人槽	24人槽
型式 ●●-26型	型式 ●●-28型	型式 ●●-30型	型式 ●●-31型	型式 ●●-35型
26人槽	28人槽	30人槽	31人槽	35人槽
型式 ●●-40型	型式 ●●-45型	型式 ●●-50型	型式	型式
40人槽	45人槽	50人槽	人槽	人槽

4) 処理能力：

BOD除去率： 90%以上  
 放流水BOD： 20mg/L以下

5) 設計：●●●●株式会社

# 記入例（告示構造・中大規模合併処理）

《様式2-2》

## 建築物の部分の概要を記載した図書

（処理方式及び処理能力を記載した書面）

1) 申請者：

会社名：●●●●株式会社

代表者名：代表取締役社長 ●● ●●

所在地：〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号

2) 処理方式：

告示第6第二号による 接触ばっ気方式（流量調整槽）

3) 浄化槽の型式、処理対象人員、及び日平均汚水量：

処理対象人員	101人～500人
日平均汚水量	20.2～100m <sup>3</sup>
配置パターン、及びパターン数	A, B, C, D, E, F, G, H, I, J (計10パターン)

4) 処理能力：

流入水BOD：150mg/L～300mg/L

放流水BOD：20mg/L以下

5) 設計：●●●●株式会社



## 建築物の部分の概要を記載した図書

(処理方式及び処理能力を記載した書面)

1) 申請者:

会社名: ●●●●株式会社

代表者名: 代表取締役社長 ●● ●●

所在地: 〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号

2) 処理方式:

建築基準法施行令第35条第1項認定による ●●●●●●●●方式

3) 浄化槽の型式及び処理対象人員:

型式 ●●-5型 5人槽	型式 ●●7型 7人槽	型式 ●●-10型 10人槽		

4) 処理能力:

放流水BOD: 20mg/L以下

放流水SS: 20mg/L以下

5) 設計:

●●●●株式会社

## 建築物の部分の概要を記載した図書

（処理方式及び処理能力を記載した書面）

1) 申請者：

会社名：●●●●株式会社

代表者名：代表取締役社長 ●● ●●

所在地：〒●●●●-●●●● 東京都●●区●●町●丁目●番地●号

2) 処理方式：

建築基準法施行令第35条第1項認定による ●●●●●●●●方式

3) 浄化槽の型式、処理対象人員、及び日平均汚水量：

処理対象人員	51人～500人
日平均汚水量	10.2～100m <sup>3</sup>
配置パターン、及びパターン数	A, B, C, D, E, F, G, H, I, J (計10パターン)

4) 処理能力：

流入水BOD：150mg/L～300mg/L

放流水BOD：10mg/L以下

放流水T-N：20mg/L以下

5) 設計：●●●●株式会社

## 施工要領書及び維持管理要領書に記載すべき事項

## 施工要領書に記載すべき事項

関連する単位装置	記述事項	備考

## 維持管理要領書に記載すべき事項

関連する単位装置	記述事項	備考

# 記 入 例

《様式3》

## 施工要領書及び維持管理要領書に記載すべき事項

### 施工要領書に記載すべき事項

関連する単位装置	記 述 事 項	備 考
一般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工全体のイメージをつかめるフローチャート</li> <li>・ 施工に必要な準備機材</li> <li>・ 配管接続方法</li> <li>・ 各種機器等の設置方法</li> <li>・ 電気設備の配線方法</li> <li>・ 設置者への引き渡しについての注意事項</li> </ul>	
接触ばっ気槽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 可搬式ポンプの設置場所</li> </ul>	
生物濾過槽（担体流動槽）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濾過担体（流動担体）の充填時期と方法等留意事項</li> </ul>	
凝集槽（薬液を用いる処理を行うものも準用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬品タンクへの薬液充填時等、薬液の取り扱い注意事項</li> </ul>	
砂濾過装置・活性炭吸着装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濾材・活性炭充填を現場で行う場合は、その充填方法と注意事項</li> <li>・ 寒冷地等の場合は、フローメーターの保温対策</li> </ul>	

### 維持管理要領書に記載すべき事項

関連する単位装置	記 述 事 項	備 考
一般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄化槽の概要</li> <li>・ 保守点検頻度、清掃頻度</li> <li>・ 遵守すべき法令</li> <li>・ 維持管理作業チェックシート、保守点検記録表</li> <li>・ 浄化槽の機能が低下したときに生ずる現象とその対策</li> <li>・ 清掃時期の判断基準</li> <li>・ 付帯機器の保守点検項目、修理・交換頻度</li> <li>・ 落雷による停電等の非常時対応策</li> </ul>	
循環用計量調整移送装置（小型合併浄化槽）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人槽及び実使用人員毎の調整方法</li> <li>・ 掃除方法等</li> </ul>	
生物濾過槽（担体流動槽）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濾過担体（流動担体）を清掃時に誤って引き抜かないこと。</li> <li>・ 濾過担体（流動担体）の補充又は交換の判断基準と方法</li> </ul>	
流量調整槽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 槽に流入する汚水量の計量及び記録の方法</li> </ul>	
接触ばっ気槽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各室の剥離汚泥その他の浮遊汚泥の移送方法（特に可搬式ポンプを併用する場合は可搬式ポンプを用いた作業要領を記述する）</li> </ul>	
凝集槽（薬液を用いる処理を行うものも準用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬品タンクへの薬液充填時等、薬液の取り扱い注意事項</li> </ul>	
砂濾過装置・活性炭吸着装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濾材・活性炭充填の交換方法、注意事項</li> </ul>	

## 変更内容説明書

説明：既認定による内容を変更する部分について箇条書きにまとめ、別紙としてそれぞれの変更内容を説明する構造図、詳細図（必要に応じて写真も可）を添付して下さい。

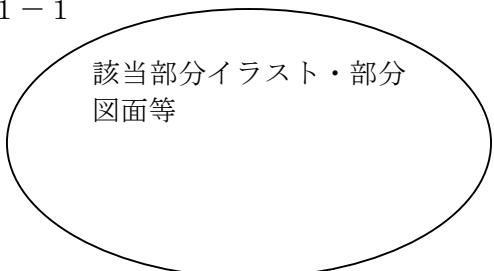
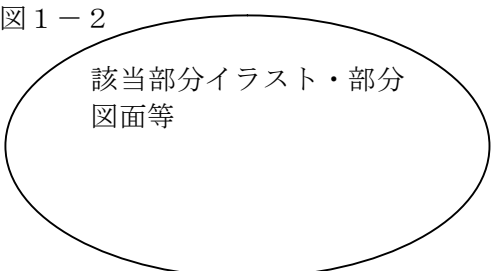
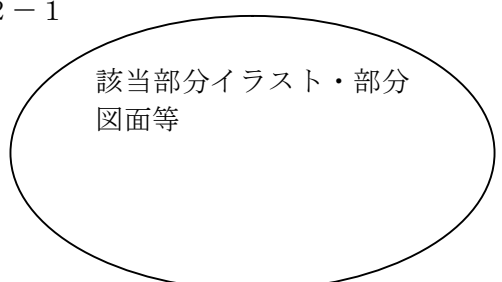
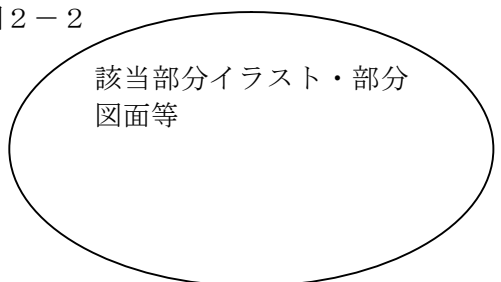
変更前	変更後	備考

# 記入例（告示構造）

《様式4》

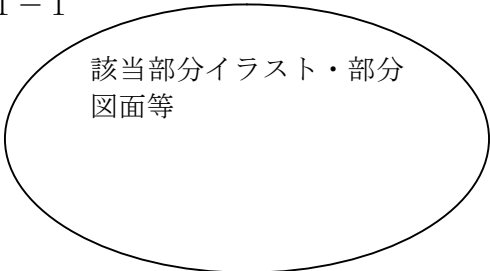
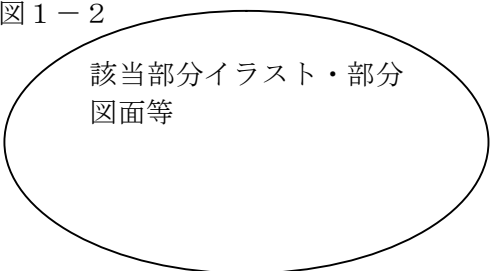
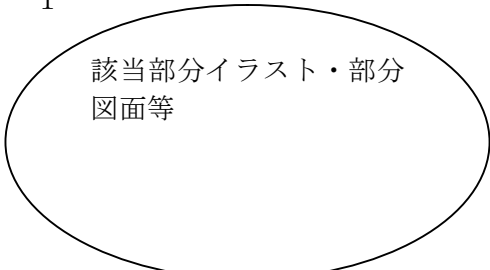
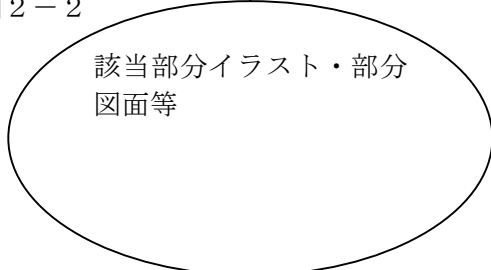
## 変更内容説明書

説明：既認定による内容を変更する部分について箇条書きにまとめ、別紙としてそれぞれの変更内容を説明する構造図、詳細図（必要に応じて写真も可）を添付して下さい。

変更前	変更後	備考
<p>記載例)</p> <p>●関連する既審査案件</p> <p>BCJ評定：BCJ-浄・工○○○○○</p> <p>浄化槽法認定：97-●●-●●●●</p>		<p>参照資料 目次 「その他」</p>
<p>①○○の材質をFRP製としている。 (下図1-1参照)</p> <p>図1-1</p>  <p>該当部分イラスト・部分 図面等</p>	<p>①○○の材質をPP製とする。 (下図1-2参照)</p> <p>理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成型品とすることによる品質の安定化を図る。</li> </ul> <p>図1-2</p>  <p>該当部分イラスト・部分 図面等</p>	<p>参照資料 構造図 p ●</p>
<p>②○○槽の上部マンホールをφ450としている。 (下図2-1参照)</p> <p>図2-1</p>  <p>該当部分イラスト・部分 図面等</p>	<p>②○○槽の上部マンホールをφ600とする。 (下図2-2参照)</p> <p>理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開口部を拡大することにより維持管理作業性を向上させる。</li> </ul> <p>図2-2</p>  <p>該当部分イラスト・部分 図面等</p>	<p>参照資料 構造図 p ●</p>

変更内容説明書

説明：既認定による内容を変更する部分について箇条書きにまとめ、別紙としてそれぞれの変更内容を説明する構造図、詳細図（必要に応じて写真も可）を添付して下さい。

変更前	変更後	備考
<p>記載例)</p> <p>●関連する既審査案件</p> <p>性能評価番号：BCJ基評-JS●●●●●●-●●●</p> <p>大臣認定番号：DW●●●●●●●●</p> <p>浄化槽法認定：97-●●●-●●●●●●</p>		
<p>①〇〇の材質をFRP製としている。 (下図1-1参照)</p> <p>図1-1</p>  <p>該当部分イラスト・部分図面等</p>	<p>①〇〇の材質をPP製とする。 (下図1-2参照)</p> <p>理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成型品とすることによる品質の安定化を図る。</li> </ul> <p>図1-2</p>  <p>該当部分イラスト・部分図面等</p>	<p>参照資料 目次 「その他」</p> <p>参照資料 構造図 p ●</p>
<p>②〇〇槽の上部マンホールをφ450としている。 (下図2-1参照)</p> <p>図2-1</p>  <p>該当部分イラスト・部分図面等</p>	<p>②〇〇槽の上部マンホールをφ600とする。 (下図2-2参照)</p> <p>理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開口部を拡大することにより維持管理作業性を向上させる。</li> </ul> <p>図2-2</p>  <p>該当部分イラスト・部分図面等</p>	<p>参照資料 構造図 p ●</p>





取り下げ届

年 月 日

一般財団法人 日本建築センター  
理事長 松野 仁 様

申請者の住所又は  
主たる事務所の所在地  
申請者の氏名又は名称 印

1. 申請年月日 年 月 日

2. 当該申請に係る構造方法又は建築材料の名称

上記による申請については、下記の理由により申請を取り下げたく届け出ます。

(理由)

(注意)

- ① 申請者が法人である場合には、代表者の役職及び氏名も併せて記載してください。
- ② 氏名(法人の場合にあっては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。
- ③ 不要な文字は、抹消してください。

様式 6-1-1 (告示第 1 第一号から第三号に適用) 第一第三号の場合、「嫌気濾床槽」を「脱窒濾床槽」として下さい。

仕様書


型式																				
処理対象人員 (人)																				
躯体	材質																			
	板厚 (mm)																			
	成形方法																			
仕切板	材質																			
	板厚 (mm)																			
余裕高 (mm)																				
沈殿分離槽	有効容量	第一室 ( )																		
		第二室 ( )																		
		合計 ( )																		
	有効水深 (mm)																			
嫌気濾床槽	有効容量	第一室 ( )																		
		第二室 ( )																		
		合計 ( )																		
	有効水深 (mm)																			
	濾材	第一室	充填率 (%)																	
			形状																	
			材質																	
			目幅間隔 (mm)																	
	濾材	第二室	充填率 (%)																	
			形状																	
材質																				
目幅間隔 (mm)																				

様式6-1-2 (告示第1第一号から第三号に適用) 第一第三号の場合、「嫌気濾床槽」を「脱窒濾床槽」として下さい。

		型式																	
接触ばつ気槽	有効容量	第一室 ( )																	
		第二室 ( )																	
		合計 ( )																	
	有効水深 (mm)																		
	接触材	第一室	充填率 (%)																
			形状																
			材質																
			目幅間隔 (mm)																
			比表面積 (m <sup>2</sup> / ) (板状のみ適用)																
		第二室	充填率 (%)																
			形状																
			材質																
			目幅間隔 (mm)																
			比表面積 (m <sup>2</sup> / ) (板状のみ適用)																
	散気管	材質																	
長さ (mm)																			
送気空気量 ( / ・時)																			
送風機	型式																		
	吐止風量 ( /分)																		
	モーター出力 (W)																		
汚泥移送方法																			

様式 6-1-3 (告示第 1 第一号から第三号に適用) 第一第三号の場合、「嫌気濾床槽」を「脱窒濾床槽」として下さい。

型式																			
沈殿槽	有効容量 ( )																		
	底部の構造																		
	水面積負荷 ( / ・日)																		
	越流負荷 ( / ・日)																		
	有効水深 (m)																		
	ホッパーの勾配 (度)																		
	ホッパー底部一辺の長さ 又はスロット巾 (mm)																		
	スカム除去装置の数 (個)																		
	汚泥移送管径 (mm)																		
消毒槽	有効容量 ( )																		
	薬剤の貯留日数 (日)																		
	越流せきと放流管との 水位差 (mm)																		
流入管	材質																		
	内径 (mm)																		
移流管	材質																		
	内径 (mm)																		
放流管	材質																		
	内径 (mm)																		
マンホール	材質																		
	内径 (mm)																		
チェック カーブ プレート	材質																		
	内径 (mm)																		
点検 口	材質																		
	内径 (mm)																		

(該当しない項目→ )

様式 6-2-1 (告示第 2, 3, 6) (告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分) (告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用

仕様書

表-1 槽の有効容量及び滞留時間

項目		型式 単位							
処理対象人員		人	～						
日平均汚水量		/日	～						
流入 BOD 量		kgBOD/日	～						
流入水 BOD 濃度		mg/	～						
放流水 BOD 濃度		〃	～						
BOD 除去率		%	～						
有効容量	沈殿分離槽	第一室	〃	～					
		第二室	〃	～					
		合計	〃	～					
	原水ポンプ槽		〃	～					
	流量調整槽		〃	～					
	接触ばっ気槽	第一室	〃	～					
		第二室	〃	～					
		合計	〃	～					
	沈殿槽		〃	～					
	消泡ポンプ槽		〃	～					
	消毒槽		〃	～					
	放流ポンプ槽		〃	～					
	汚泥濃縮貯留槽		〃	～					
	汚泥濃縮槽		〃	～					
汚泥貯留槽		〃	～						
滞留時間	沈殿分離槽	第一室	時間	～					
		第二室	〃	～					
		合計	〃	～					

様式 6-2-2 (告示第 2, 3, 6) (告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分) (告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用

項目		型式								
		単位								
滞留時間	原水ポンプ槽		〃	～						
	流量調整槽		〃	～						
	接触ばっ気槽	第一室	〃	～						
		第二室	〃	～						
		計	〃	～						
	沈殿槽		〃	～						
	消泡ポンプ槽		〃	～						
	消毒槽		〃	～						
放流ポンプ槽		〃	～							
寸法	沈殿分離槽	第一室	幅	mm	～					
			長さ	〃	～					
			有効水深	〃	～					
		第二室	幅	〃	～					
			長さ	〃	～					
			有効水深	〃	～					
		第三室	幅	〃	～					
			長さ	〃	～					
			有効水深	〃	～					
	原水ポンプ槽	幅	〃	～						
		長さ	〃	～						
		有効水深	〃	～						
流量調整槽	幅	〃	～							
	長さ	〃	～							
	有効水深	〃	～							

様式 6-2-3 (告示第 2, 3, 6) (告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分) (告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用

項目			型式										
		単位											
寸法	接触ばっ気槽	第一室	幅	mm	～								
			長さ	〃	～								
			有効水深	〃	～								
		第二室	幅	〃	～								
			長さ	〃	～								
			有効水深	〃	～								
		計	幅	〃	～								
			長さ	〃	～								
			有効水深	〃	～								
	沈殿槽	幅	〃	～									
		長さ	〃	～									
		有効水深	〃	～									
	消泡ポンプ槽	幅	〃	～									
		長さ	〃	～									
		有効水深	〃	～									
	消毒槽	幅	〃	～									
		長さ	〃	～									
		有効水深	〃	～									
	放流ポンプ槽	幅	〃	～									
		長さ	〃	～									
		有効水深	〃	～									
汚泥濃縮貯留槽	幅	〃	～										
	長さ	〃	～										
	有効水深	〃	～										
汚泥濃縮槽	幅	〃	～										
	長さ	〃	～										
	有効水深	〃	～										
汚泥貯留槽	幅	〃	～										
	長さ	〃	～										
	有効水深	〃	～										

様式 6-2-4 (告示第 2, 3, 6) (告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分) (告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用


表 2 設計諸元 (実数値)

型式								
躯体	材質							
	板厚 (mm)							
	成形方法							
仕切板	材質							
	板厚 (mm)							
接触ばつ気槽	BOD槽容積負荷 (kg/・日)							
	BOD接触材容積負荷 (kg/・日)							
	接触材形状							
	接触材充填率 (%)							
	有効水深 (mm)							
	ばつ気空気量 (m <sup>3</sup> /・時)							
	消泡の方法							
	第一室	BOD槽容積負荷 (kg/・日)						
		接触材ピッチ (mm)						
		比表面積 (板状のみ適用) (m <sup>2</sup> / )						
		逆洗の方法						
	第二室	逆洗汚泥返送方法						
		接触材ピッチ (mm)						
		比表面積 (板状のみ適用) (m <sup>2</sup> / )						
	送風機	逆洗の方法						
		型式						
		吐出風量 ( /分)						
沈殿槽	モーター出力 (W)							
	形状							
	越流負荷 ( /m・日)							
	水面積負荷 (m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日)							
	ホッパー角度 (°)							
	ホッパー底部の長さ (mm)							
	越流せき長さ (mm)							
	ノッチ取付間隔 (mm)							
	ノッチ角度 (°)							
	汚泥引抜装置	汚泥引抜方法						
汚泥引抜管材質								
汚泥引抜管径 (mm)								
汚泥引抜頻度								
汚泥引抜量 ( /日)								



様式 6-2-5 (告示第 2, 3, 6) (告示第 7, 8 の各第一号で二次処理部分) (告示第 9, 10, 11 の各第二号で二次処理部分) にそれぞれ適用

型式									
汚泥濃縮貯留槽	汚泥濃縮の方法								
	汚泥貯留日数 (日)								
汚泥濃縮槽	汚泥貯留日数 (日)								
	汚泥貯留日数 (日)								
消毒槽	薬剤接触時間								
	薬剤の種類と接触方法								
	薬剤の貯留日数 (日)								
流入管	材 質								
	内 径 (mm)								
移入管	材 質								
	内 径 (mm)								
放流管	材 質								
	内 径 (mm)								
臭突管	材 質								
	内 径 (mm)								
送気管	材 質								
	内 径 (mm)								
汚泥移送管	材 質								
	内 径 (mm)								
マンホール	材 質								
	内 径 (mm)								
チェックプレート	材 質								
	寸 法 (mm×mm)								
点検口	材 質								
	内 径 (mm)								

(該当しない項目→ )

- 注 1 : 本様式は告示第 2 第二号、第 3 第二号、第 6 第二号によるものを使用して下さい。  
 注 2 : スクリーン、計量装置等がある場合には空欄に記入して下さい。  
 注 3 : 装置取付けに用いるアングル、ビス等の部品についてもその材質を記して下さい。

様式 6-3-1 (告示第 7 及び第 8 の各第一号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-1 槽の有効容量及び寸法

項目	型式								
	単位								
日平均汚水量		( /日)							
移流計画汚水量		( /日)							
第 2 接触ばっ気槽	有効容量	( )							
	幅	(mm)							
	長さ	(mm)							
	有効水深	(mm)							
	滞留時間	(h)							
第 2 沈殿槽	有効容量	( )							
	幅	(mm)							
	長さ	(mm)							
	有効水深	(mm)							
	滞留時間	(h)							
濾過原水槽	有効容量	( )							
	幅	(mm)							
	長さ	(mm)							
	有効水深	(mm)							
	滞留時間	(h)							
濾過装置	装置径	(mm)							
	高さ	(mm)							
活性炭吸着原水槽	有効容量	( )							
	幅	(mm)							
	長さ	(mm)							
	有効水深	(mm)							
	滞留時間	(h)							

様式 6-3-2 (告示第 7 及び第 8 の各第一号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

項目		型式					
		単位					
活性炭吸着装置	装置径	(mm)					
	高さ	(mm)					
活性炭吸着処理水槽 (濾過処理水槽)	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(h)					
消毒槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(h)					

様式6-3-3 (告示第7及び第8の各第一号に適用) (注)第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-2 設計諸元 (実数値)

項目		型式 単位								
躯体	材質									
	板厚	(mm)								
	成型方法									
仕切板	材質									
	板厚	(mm)								
第2接触ばっ気槽	接触材充填率	(%)								
	接触材ピッチ	(mm)								
	ばっ気空気量	( )								
	逆洗の方法									
	送風機	型式								
		吐出風量	( /分)							
モータ出力		(kw)								
第2沈殿槽	越流負荷	( / ・日)								
	水面積負荷	( / m <sup>2</sup> ・日)								
	ホッパー角度	度								
	ホッパー底部の長さ	(mm)								
	越流セキ長さ	(mm)								
	ノッチ取付間隔	(mm)								
	ノッチ角度	(度)								
	汚泥移送装置	汚泥引抜方法								
		汚泥引抜管材質								
汚泥引抜管径		(mm)								
汚泥引抜頻度										
濾過原水槽	濾過ポンプ	型式								
	吐出量	( / )								
	モータ出力	(kw)								

様式6-3-4 (告示第7及び第8の各第一号に適用) (注) 第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。

項目		型式	単位						
濾過装置	材質								
	板厚		(mm)						
	使用濾材種類								
	濾層厚	アンスラサイト	(mm)						
		濾過砂	(mm)						
	支持層厚		(mm)						
			(mm)						
	濾過速度		(m/hr)						
濾材	有効径	アンスラサイト	(mm)						
		濾過砂	(mm)						
	均等係数								
砂濾過装置逆洗水量			( /hr)						
活性炭吸着原水機	逆洗ポンプ	型式							
		吐出量	( / )						
		モータ出力	(kw)						
	活性炭吸着ポンプ	型式							
		吐出量	( / )						
		モータ出力	(kw)						
活性炭吸着装置	材質								
	板厚		(mm)						
	濾層厚		(mm)						
	支持層厚		(mm)						
			(mm)						
	濾過速度								
	濾材	有効径	(mm)						
均等係数									

様式 6-3-5 (告示第 7 及び第 8 の各第一号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。


項目		型式							
		単位							
活性炭吸着処理水槽 (濾過処理水槽)	活性炭吸着装置逆洗水量		( /hr)						
	活性炭逆洗	型式							
	ポンプ	吐出量	( / )						
		モータ出力	(kw)						
消毒槽	薬剤接触時間		分						
	薬剤の種類と接触方法								
	薬剤の貯留日数		日						

様式 6-3-6 (告示第 7 及び第 8 の各第一号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-3 設計諸元

項目		型式 単位						
流入管	材質							
	内径	(mm)						
移流管	材質							
	内径	(mm)						
放流管	材質							
	内径	(mm)						
送気管	材質							
	内径	(mm)						
マンホール	材質							
	内径	(mm)						
チェッカープレート	材質							
	内径	(mm)						
放流管	材質							
	内径	(mm)						

(該当しない項目→ )

様式 6-4-1 (告示第 7 及び第 8 の各第二号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-1 槽の有効容量及び寸法

項目	型式						
	単位						
日平均汚水量	( /日)						
移流計画汚水量	( /日)						
中間流量調整槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
凝集槽 (急速攪拌室)	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
凝集槽 (緩速攪拌室)	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
凝集沈殿槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					



様式 6-4-2 (告示第 7 及び第 8 の各第二号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

項目		型式 単位						
活性炭吸着原水槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
活性炭吸着装置	装置径	(mm)						
	高さ	(mm)						
活性炭吸着処理水槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
消毒槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
放流ポンプ	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						

様式 6-4-3 (告示第 7 及び第 8 の各第二号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-2 設計諸元 (実数値)

項目		型式 単位						
躯体	材質							
	板厚	(mm)						
	成型方法							
仕切板	材質							
	板厚	(mm)						
中間流量調整槽	攪拌送風機	型式						
		能力	(m <sup>3</sup> /分)					
		動力	(kw)					
		台数	(台)					
		運転方法						
	計量ポンプ	型式						
		能力	(m <sup>3</sup> /分×m)					
		動力	(kw)					
		口径	(mm)					
		台数	(台)					
運転方法								
凝集槽	急速攪拌室	平面形状						
		急速攪拌室容積/総容積						
	攪拌機	型式						
		回転数	(P.P.M)					
		モーター入力	(W)					
		台数	(台)					
	緩速攪拌室	計	型式					
調節方式								
台数		(台)						

様式 6-4-4 (告示第 7 及び第 8 の各第二号に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

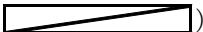
項目		型式 単位						
凝集沈殿槽	平面形状							
	越流負荷	( / m · 日 )						
	水面積負荷	( / m <sup>2</sup> · 日 )						
	ホッパー角度	( ° )						
	ホッパー底部の長さ	( mm )						
	越流ぜき長さ	( mm )						
	ノッチ取付間隔	( mm )						
	ノッチ角度	( ° )						
凝集沈殿槽	汚泥引抜装置	汚泥引抜方法						
		汚泥引抜管材質						
		汚泥引抜頻度						
		汚泥引抜管径	( mm )					
		汚泥引抜量	( / 日 )					
活性炭吸着原水槽	逆洗ポンプ	型式						
		吐出量	( / )					
		モータ出力	( kw )					
	活性炭吸着ポンプ	型式						
		吐出量	( / )					
		モータ出力	( kw )					

様式6-4-5 (告示第7及び第8の各第二号に適用) (注)第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。

項目		型式 単位						
活性炭吸着装置	材質							
	板厚	(mm)						
	濾層厚	(mm)						
	支持層厚	(mm)						
		(mm)						
	濾過速度							
濾材	有効径	(mm)						
	均等係数							
活性炭吸着処理水槽	活性炭吸着装置逆洗水量	( /hr)						
	活性炭逆洗	型式						
	ポンプ	吐出量	( / )					
		モータ出力	(kw)					
消毒槽	薬剤接触時間	(分)						
	薬剤の種類と接触方法							
	薬剤の貯留日数	(日)						
移流管	材質							
	内径	(mm)						
放流管	材質							
	内径	(mm)						
送気管	材質							
	内径	(mm)						
汚泥移送管	材質							
	内径	(mm)						
マンホール	材質							
	内径	(mm)						

様式6-4-6 (告示第7及び第8の各第二号に適用) (注)第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。

項目		型式 単位						
チェッカープレート	材質							
	内径	(mm)						
グレーチング	材質							
	内径	(mm)						
計量槽	材質							
	計量方法							
凝集剤薬液タンク	材質							
	凝集剤貯留日数	(日)						
凝集剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						
調整剤薬液タンク	材質							
	薬液貯留日数	(日)						
調整剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						

(該当しない項目→ )

様式 6-5-1 (告示第 9、10、11 の各第一号で、二次処理の部分に適用)

仕様書

表-1 槽の有効容量及び寸法

項目	型式						
	単位						
処理対象人員	(人)						
日平均汚水量	( /日)						
流入 BOD 量	(kgBOD/日)						
流入 T-N 量	(kgT-N/日)						
流入 T-P 量	(kgT-P/日)						
流入水 BOD 濃度	mg/						
流入水 T-N 濃度	mg/						
流入水 T-P 濃度	mg/						
BOD 除去率	%						
原水ポンプ	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
流量調整槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
生物反応槽 (脱窒槽)	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					

様式 6-5-2 (告示第 9、10、11 の各第一号で、二次処理の部分に適用)

項目	型式							
	単位							
生物反応槽 (硝化槽)	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
沈殿槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
消泡ポンプ 槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
放流ポンプ 槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						

様式6-5-3 (告示第9、10、11の各第一号で、二次処理の部分に適用)

項目	型式							
	単位							
汚泥濃縮貯留槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
汚泥濃縮槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
汚泥貯留槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						



様式 6-5-4 (告示第 9、10、11 の各第一号で、二次処理の部分に適用)

仕様書

表-2 設計諸元 (実数値) (二次処理の部)


項目		型式						
		単位						
躯体	材質							
	板厚	(mm)						
	成型方法							
仕切板	材質							
	板厚	(mm)						
生物反応槽	BOD槽容積負荷							
	T-N槽容積負荷							
	有効水深							
生物反応槽	脱窒槽	BOD槽容積負荷						
		T-N槽容積負荷						
		攪拌方法						
		攪拌装置の能力						
	硝化槽	BOD槽容積負荷						
		T-N槽容積負荷						
		ばっ気空気量						
	送風機	型式						
		吐出風量						
		モーター出力						
	硝化液返送装置	循環水引抜方法						
		循環水引抜管材質						
循環水引抜管径								
循環水引抜能力								

様式 6-5-5 (告示第 9、10、11 の各第一号で、二次処理の部分に適用)

項目		型式 単位						
沈殿槽	形状							
	越流負荷	( /m・日)						
	水面積負荷	( /㎡・日)						
	ホッパー角度	(°)						
	ホッパー底部の長さ	(mm)						
	越流せき長さ	(mm)						
	ノッチ取付間隔	(mm)						
	ノッチ角度	(°)						
	汚泥引 抜装置	汚泥引抜間隔						
		汚泥引抜管材質						
汚泥引抜管径		(mm)						
汚泥引抜頻度								
汚泥引抜量		( /日)						
汚泥濃縮貯留槽	汚泥濃縮の方法							
	汚泥貯留日数	(日)						
汚泥濃縮槽	汚泥貯留日数	(日)						
汚泥貯留槽	汚泥貯留日数	(日)						
消毒槽	薬剤接触時間	(分)						
	薬剤の種類と接触方法							
	薬剤の貯留日数	(日)						
流入管	材質							
	内径	(mm)						

様式 6-5-6 (告示第 9、10、11 の各第一号で、二次処理の部分に適用)

項目	型式							
	単位							
移入管	材質							
	内径	(mm)						
放流管	材質							
	内径	(mm)						
臭突管	材質							
	内径	(mm)						
送気管	材質							
	内径	(mm)						
汚泥移送管	材質							
	内径	(mm)						
マンホール	材質							
	内径	(mm)						
チェッカープレート	材質							
	内径	(mm)						
点検口	材質							
	内径	(mm)						

(該当しない項目→ )

- 注 1 : 本様式は告示第 9、第10、第11の各第一号によるものを使用して下さい。  
 注 2 : スクリーン、計量装置等がある場合には空欄に記入して下さい。  
 注 3 : 装置取付に用いるアングル、ビス等の部品についてもその材質を記入して下さい。

様式 6-6-1 (告示第 9、10、11 の各第一号で、三次処理の部分に適用)

仕様書

表-1 槽の有効容量及び寸法 (三次処理の部)

項目	型式							
	単位							
中間流量調整槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
脱窒用接触槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
再ばっ気槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
凝集槽 (急速攪拌室)	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
凝集槽 (緩速攪拌室)	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						

様式 6-6-2 (告示第 9、10、11 の各第一号で、三次処理の部分に適用)

項目		型式						
		単位						
凝集沈殿槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
消毒槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						

様式 6-6-3 (告示第 9、10、11 の各第一号で、三次処理の部分に適用)

仕様書

表-2 設計諸元 (実数値) (三次処理の部)

項目		型式							
		単位							
躯体	材質								
	板厚	(mm)							
	成型方法								
仕切板	材質								
	板厚	(mm)							
中間流量調整槽	攪拌送風機	型式							
		能力	( $m^3/分$ )						
		動力	(kw)						
		台数	(台)						
		運転方法							
	計量ポンプ	型式							
		能力	( $m^3/分 \times m$ )						
		動力	(kw)						
		口径	(mm)						
		台数	(台)						
	運転方法								
脱室用接触槽	T-N槽容積負荷								
	濾材形状								
	濾材充填ピッチ								
	攪拌の方法								
	逆洗の方法								
	逆洗汚泥返送方法								
	攪拌装置	型式							
		能力							
モーター出力									

様式6-6-4 (告示第9、10、11の各第一号で、三次処理の部分に適用)

項目		型式 単位							
再ばっ気槽	接触材形状								
	接触材充填率								
	接触材比表面積 (板状のみ適用)								
	接触材充填ピッチ								
	逆洗の方法								
	逆洗汚泥返送方法								
	送風機	型式							
吐出能力									
モーター出力									
凝集槽	急速攪拌室	平面形状							
		急速攪拌室容積/総容積							
	攪拌機	型式							
		回転数	(rpm)						
		モーター入力	(W)						
	計	台数	(台)						
		型式							
調節方法									
凝集槽	緩速攪拌室	型式							
		回転数	(rpm)						
		モーター出力	(W)						
		台数	(台)						


様式 6-6-5 (告示第 9、10、11 の各第一号で、三次処理の部分に適用)

項目		型式 単位						
凝集沈殿槽	形状							
	越流負荷	( /m・日)						
	水面積負荷	( /m・日)						
	ホッパー角度	(°)						
	ホッパー底部の長さ	(mm)						
	越流ぜき長さ	(mm)						
	ノッチ取付間隔	(mm)						
	ノッチ角度	(°)						
凝集沈殿槽	汚泥引抜装置	汚泥引抜間隔						
		汚泥引抜管材質						
		汚泥引抜管径	(mm)					
		汚泥引抜頻度						
		汚泥引抜量	( /日)					
消毒槽	薬剤接触時間	(分)						
	薬剤の種類と接触方法							
	薬剤の貯留日数	(日)						
移流管	材質							
	内径	(mm)						
放流管	材質							
	内径	(mm)						
送気管	材質							
	内径	(mm)						
汚泥移送管	材質							
	内径	(mm)						



様式 6-6-6 (告示第 9、10、11 の各第一号で、三次処理の部分に適用)

項目		型式 単位						
マンホール	材質							
	内径	(mm)						
チェッカープレート	材質							
	内径	(mm)						
グレーチング	材質							
	内径	(mm)						
計量槽	材質							
	計量方式	(日)						
凝集剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						
調整剤薬液タンク	材質							
	薬液貯留日数	(日)						
調整剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						

(該当しない項目→ )

様式 6-7-1 (告示第 9、10、11 の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-1 槽の有効容量及び寸法 (三次処理の部)

項目	型式						
	単位						
日平均汚水量	( /日)						
移流計画汚水量	( /日)						
中間流量調整槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
硝化用接触槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
脱窒用接触槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					
再ばっ気槽	有効容量	( )					
	幅	(mm)					
	長さ	(mm)					
	有効水深	(mm)					
	滞留時間	(hr)					

様式 6-7-2 (告示第 9、10、11 の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

項目		型式						
		単位						
凝集槽 (急速攪拌室)	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
凝集槽 (緩速攪拌室)	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
凝集沈殿槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						
消毒槽	有効容量	( )						
	幅	(mm)						
	長さ	(mm)						
	有効水深	(mm)						
	滞留時間	(hr)						

様式 6-7-3 (告示第 9、10、11 の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

仕様書

表-2 設計諸元 (実数値) (三次処理の部)

項目		型式						
		単位						
躯体	材質							
	板厚	(mm)						
	成型方法							
仕切板	材質							
	板厚	(mm)						
中間流量調整槽	攪拌送風機	型式						
		能力	( $m^3/分$ )					
		動力	(kw)					
		台数	(台)					
		運転方法						
	計量ポンプ	型式						
		能力	( $m^3/分 \times m$ )					
		動力	(kw)					
		口径	(mm)					
		台数	(台)					
	運転方法							
硝化用接触槽	T-N 槽容積負荷							
	濾材形状							
	濾材充填ピッチ							
	攪拌の方法							
	逆洗の方法							
	逆洗汚泥返送方法							
	攪拌装置	型式						
		能力						
モーター出力								

様式6-7-4 (告示第9、10、11の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注)第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。


項目		型式 単位						
脱 窒 用 槽 接 触	T-N槽容積負荷							
	濾材形状							
	濾材充填ピッチ							
	攪拌の方法							
	逆洗の方法							
	逆洗汚泥返送方法							
	攪拌装置	型式						
		能力						
モーター出力								
再ばっ気槽	接触材形状							
	接触材充填率							
	接触材比表面積 (板状のみ適用)							
	接触材充填ピッチ							
	逆洗の方法							
	逆洗汚泥返送方法							
	送風機	型式						
		吹出能力						
モーター出力								
凝集槽	急速攪拌室	平面形状						
		急速攪拌室容積/総容積						
		攪拌機	型式					
			回転数	(rpm)				
			モーター出力	(W)				
			台数	(台)				
	計	型式						
		調節方法						
	台数	(台)						

様式6-7-5 (告示第9、10、11の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注) 第6の構造の部分は「様式6-2」により作成して下さい。

項目		型式	単位						
凝集槽	緩速攪拌室	平面形状							
		攪拌機	型式						
			回転数	(rpm)					
			モーター出力	(W)					
		台数	(台)						
凝集沈殿槽	形状								
	越流負荷		( /m・日)						
	水面積負荷		( /m・日)						
	ホッパー角度		(°)						
	ホッパー底部の長さ		(mm)						
	越流ぜき長さ		(mm)						
	ノッチ取付間隔		(mm)						
	ノッチ角度		(°)						
凝集沈殿槽	汚泥引抜装置	汚泥引抜間隔							
		汚泥引抜管材質							
		汚泥引抜管径	(mm)						
		汚泥引抜頻度							
		汚泥引抜量	( /日)						
消毒槽	薬剤接触時間		(分)						
	薬剤の種類と接触方法								
	薬剤の貯留日数		(日)						
移流管	材質								
	内径		(mm)						
放流管	材質								
	内径		(mm)						

様式 6-7-6 (告示第 9、10、11 の各第二号で、三次処理の部分に適用) (注) 第 6 の構造の部分は「様式 6-2」により作成して下さい。

項目		型式						
		単位						
送気管	材質							
	内径	(mm)						
汚泥移送管	材質							
	内径	(mm)						
マンホール	材質							
	内径	(mm)						
チェッカープレート	材質							
	内径	(mm)						
グレーチング	材質							
	内径	(mm)						
計量槽	材質							
	計量方式							
凝集剤薬液タンク	材質							
	凝集剤貯留日数	(日)						
凝集剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						
調整剤薬液タンク	材質							
	薬液貯留日数	(日)						
調整剤注入ポンプ	型式							
	モーター出力	(W)						
	台数	(台)						

(該当しない項目→ )

## ★ 様式 6 の補足説明

三次処理を含めた以下の告示区分、申請区分に係る申請にあたっては、以下に留意してください。

---

### ●告示第 7、8 の各第一号

【申請区分：13, 14, 18, 19】

様式 6-2 に加え、様式 6-3 により作成された仕様書を併せて作成し、添付してください。

---

### ●告示第 7、8 の各第二号

【申請区分：15, 16, 17, 20, 21, 22】

様式 6-2 に加え、様式 6-4 により作成された仕様書を併せて作成し、添付してください。

---

### ●告示第 9、10、11 の各第一号

【申請区分：23, 27, 31】

様式 6-5 加え、様式 6-6 により作成された仕様書を併せて作成し、添付してください。

---

### ●告示第 9, 10, 11 の各第二号

【申請区分：24, 25, 26, 28, 29, 30, 32, 33, 34】

様式 6-2 加え、様式 6-7 により作成された仕様書を併せて作成し、添付してください。

---